

島根県の経済動向

平成28年7月分

統 第 1 3 号 の 7
平成 2 8 年 1 0 月 4 日

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、 引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている

生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇒ ~持ち直しの動き~	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は110.1で前月比で3.6%低下し、前年比は▲4.9%と6か月ぶりに下回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒ ~緩やかな改善の動き~	雇用面は、有効求人倍率は1.49倍で前月と同水準、新規求人数は0.3%と13か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は10.1%と8か月連続で、きまって支給する給与は4.5%と7か月連続で前年を上回った。 雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。
個人消費	⇒ ~持ち直しの動き~	百貨店・スーパー販売額は1.3%と2か月ぶりに前年を上回った。ホームセンター販売額は6.2%と、家電大型専門店販売額は8.0%と2か月連続で前年を上回った。新車登録台数は前年と同水準であった。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	⇒ ~持ち直しに弱い動き~	建築着工床面積(非居住用)は▲41.5%と、公共工事請負金額は▲20.1%と2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は12.6%と2か月ぶりに前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒ ~倒産件数6件~	企業倒産件数は6件。うち、製造業は3件、小売業は1件、運輸業は1件、情報通信業は1件。
金融情勢	⇒ ~貸出金残高は対前年4.7%増~	銀行預金残高は97か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は71か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒ ~対前年1.0%下落~	消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.5となり、前年比は1.0%の下落となった。
その他(参考)	島根県景気動向指数(CI) (平成28年10月4日公表) 法人企業景気予測調査結果 (平成28年9月13日公表)	CI先行指数は63.1となり、2か月ぶりの上昇となった。 CI一致指数は108.9となり、2か月連続の下降となった。 財務省松江財務事務所が公表した景況判断BSIは、現状(28年7~9月期)の景況判断BSIは、▲1.9%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 28年度の設備投資計画は、前年度比17.6%の増加見通しとなっている。 (製造業 11.8%、非製造業 35.3%)

経 済 指 標	前年同月比(%) ただし*は除く。						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産活動	* 鉱工業生産指数(季節調整済指数)	115.6	117.0	117.4	109.8	114.2	110.1
	" (原指数)	10.1	8.5	0.3	3.2	1.3	▲4.9
	大口電力需要実績	7.0	3.0	-	-	-	-
雇用情勢	* 有効求人倍率(倍)	1.42	1.43	1.46	1.47	1.49	1.49
	新規求人数	23.6	11.6	11.9	16.3	5.8	0.3
	常用労働者数	0.0	0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.4	▲0.5
	現金給与総額	2.6	2.7	2.0	2.0	7.4	10.1
	きまって支給する給与	2.8	3.4	1.7	2.3	3.2	4.5
	所定外労働時間(製造業)	▲1.7	▲2.3	▲6.8	▲7.5	▲10.2	▲4.7
個人消費	百貨店・スーパー販売額	▲4.3	▲4.6	▲1.9	1.8	▲0.3	1.3
	ホームセンター販売額	1.6	2.3	10.7	▲1.8	1.1	6.2
	家電大型専門店販売額	▲3.9	▲3.3	4.3	▲2.8	7.1	8.0
	乗用車新車登録台数	▲6.8	▲14.1	4.2	9.7	▲2.1	0.0
	出雲空港利用者数	9.4	4.9	10.4	1.9	▲1.3	14.0
投資動向	建築着工床面積(非居住用)	▲92.8	▲12.9	▲8.7	61.5	▲30.8	▲41.5
	公共工事請負金額	▲5.7	4.2	16.6	11.6	▲13.5	▲20.1
	新設住宅着工戸数	▲18.4	42.1	50.3	81.4	▲8.1	12.6
企業倒産	* 企業倒産件数(件)	4	5	4	3	3	6
	* 負債総額(百万円)	106	388	1,062	350	837	315
金融情勢	銀行預金残高	1.3	1.4	1.8	0.4	0.7	2.1
	銀行貸出金残高	2.9	4.4	3.7	4.4	5.2	4.7
物 価	* 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)	99.2	99.5	99.5	99.7	99.7	99.5
その他	* 景気動向指数(CI先行指数)	58.9	60.0	60.6	63.8	58.2	63.1
	* 景気動向指数(CI一致指数)	136.5	130.1	129.4	131.6	116.7	108.9

島根県の経済動向

平成28年8月分

統 第 1 3 号 の 8
平成 2 8 年 1 1 月 2 日

政策企画局統計調査課

— 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、 引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている —

生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇒	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は117.8で前月比で7.2%上昇し、前年比は7.2%と2か月ぶりに上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.48倍で前月を0.01ポイント下回り、新規求人数は17.4%と14か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は4.3%と9か月連続で、きまって支給する給与は5.2%と8か月連続で前年を上回った。 雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。
個人消費	⇒	～持ち直しの動き～	百貨店・スーパー販売額は▲2.3%と2か月ぶりに、ホームセンター販売額は▲2.9%と、家電大型専門店販売額は▲18.3%と3か月ぶりに前年を下回った。新車登録台数は10.8%と3か月ぶりに前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	⇒	～持ち直しに弱い動き～	建築着工床面積（非居住用）は60.2%と、公共工事請負金額は21.2%と3か月ぶりに、新設住宅着工戸数は16.8%と2か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒	～倒産件数5件～	企業倒産件数は5件。うち、製造業は1件、卸売業は1件、小売業は1件、サービス業他は2件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年4.0%増～	銀行預金残高は98か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は72か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.7%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は99.6となり、前年比は0.7%の下落となった。
その他（参考）		島根県景気動向指数（CI） （平成28年11月2日公表） 法人企業景気予測調査結果 （平成28年9月13日公表）	CI先行指数は63.7となり、2か月連続の上昇となった。 CI一致指数は、122.1となり、3か月ぶりの上昇となった。 財務省松江財務事務所が公表した現状（28年7～9月期）の景況判断BSIは、▲1.9%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 28年度の設備投資計画は、前年度比17.6%の増加見通しとなっている。 （製造業 11.8%、非製造業 35.3%）

経 済 指 標	前年同月比（%） ただし*は除く。						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	117.0	117.4	109.8	114.2	109.9	117.8
	" （原指数）	8.5	0.3	3.2	1.3	▲ 5.1	7.2
	大口電力需要実績	3.0	—	—	—	—	—
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.43	1.46	1.47	1.49	1.49	1.48
	新規求人数	11.6	11.9	16.3	5.8	0.3	17.4
	常用労働者数	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.5	0.0
	現金給与総額	2.7	2.0	2.0	7.4	10.1	4.3
	きまって支給する給与	3.4	1.7	2.3	3.2	4.5	5.2
	所定外労働時間（製造業）	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 7.5	▲ 10.2	▲ 4.7	▲ 9.5
個人消費	百貨店・スーパー販売額	▲ 4.6	▲ 1.9	1.8	▲ 0.3	1.3	▲ 2.3
	ホームセンター販売額	2.3	10.7	▲ 1.8	1.1	9.1	▲ 2.9
	家電大型専門店販売額	▲ 3.3	4.3	▲ 2.8	7.1	8.0	▲ 18.3
	乗用車新車登録台数	▲ 14.1	4.2	9.7	▲ 2.1	0.0	10.8
	出雲空港利用者数	4.9	10.4	1.9	▲ 1.3	14.0	20.9
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲ 12.9	▲ 8.7	61.5	▲ 30.8	▲ 41.5	60.2
	公共工事請負金額	4.2	16.6	11.6	▲ 13.5	▲ 20.1	21.2
	新設住宅着工戸数	42.1	50.3	81.4	▲ 8.1	12.6	16.8
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	5	4	3	3	6	5
	* 負債総額（百万円）	388	1,062	350	837	315	456
金融情勢	銀行預金残高	1.4	1.8	0.4	0.7	2.1	0.7
	銀行貸出金残高	4.4	3.7	4.4	5.2	4.7	4.0
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.5	99.5	99.7	99.7	99.5	99.6
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	60.0	60.6	63.8	58.2	63.1	63.7
	* 景気動向指数（CI一致指数）	130.1	129.4	131.6	116.7	108.7	122.1

島根県の経済動向

平成28年9月分

統 第 1 3 号 の 9
平成 2 8 年 1 2 月 2 日

政策企画局統計調査課

— 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、
引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている —

生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇒	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は114.2で前月比で3.0%低下し、前年比は3.2%と2か月連続で上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇒	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.47倍で前月を0.01ポイント下回り、新規求人数は5.1%と15か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は4.8%と10か月連続で、きまって支給する給与は5.5%と9か月連続で前年を上回った。 雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。
個人消費	⇒	～持ち直しの動き～	百貨店・スーパー販売額は▲3.0%と、ホームセンター販売額は▲2.9%と2か月連続で前年を下回った。家電大型専門店販売額は1.6%と2か月ぶりに前年を上回った。新車登録台数は1.1%と2か月連続で前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	⇒	～持ち直しに弱い動き～	建築着工床面積（非居住用）は57.4%と、公共工事請負金額は15.4%と2か月連続で、新設住宅着工戸数は6.0%と3か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち、建設業は2件、製造業は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年4.0%増～	銀行預金残高は99か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は73か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年1.0%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は99.3となり、前年比は1.0%の下落となった。
その他（参考）		島根県景気動向指数（CI） （平成28年12月2日公表） 法人企業景気予測調査結果 （平成28年9月13日公表）	CI先行指数は59.7となり、3か月ぶりの下降となった。 CI一致指数は104.8となり、2か月ぶりの下降となった。 財務省松江財務事務所が公表した現状（28年7～9月期）の景況判断BSIは、▲1.9%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 28年度の設備投資計画は、前年度比17.6%の増加見通しとなっている。 （製造業 11.8%、非製造業 35.3%）

経 済 指 標	前年同月比（%） ただし*は除く。						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	117.4	109.8	114.2	109.9	117.7	114.2
	* "（前月比）	0.3	▲ 6.5	4.0	▲ 3.8	7.1	▲ 3.0
	"（前年同月比）	0.3	3.2	1.3	▲ 5.1	7.1	3.2
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.46	1.47	1.49	1.49	1.48	1.47
	新規求人数	11.9	16.3	5.8	0.3	17.4	5.1
	常用労働者数	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.5	0.0	▲ 0.4
	現金給与総額	2.0	2.0	7.4	10.1	4.3	4.8
	きまって支給する給与	1.7	2.3	3.2	4.5	5.2	5.5
	所定外労働時間（製造業）	▲ 6.8	▲ 7.5	▲ 10.2	▲ 4.7	▲ 9.5	▲ 11.2
	個人消費	百貨店・スーパー販売額	▲ 1.9	1.8	▲ 0.3	1.3	▲ 2.3
ホームセンター販売額	10.7	▲ 1.8	1.1	9.1	▲ 2.8	▲ 2.9	
家電大型専門店販売額	4.3	▲ 2.8	7.1	8.0	▲ 18.3	1.6	
乗用車新車登録台数	4.2	9.7	▲ 2.1	0.0	10.8	1.1	
出雲空港利用者数	10.4	1.9	▲ 1.3	14.0	20.9	3.5	
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲ 8.7	61.5	▲ 30.8	▲ 41.5	60.2	57.4
	公共工事請負金額	16.6	11.6	▲ 13.5	▲ 20.1	21.2	15.4
	新設住宅着工戸数	50.3	81.4	▲ 8.1	12.6	16.8	6.0
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	4	3	3	6	5	3
	* 負債総額（百万円）	1,062	350	837	315	456	125
金融情勢	銀行預金残高	1.8	0.4	0.7	2.1	0.7	1.8
	銀行貸出金残高	3.7	4.4	5.2	4.7	4.0	4.0
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.5	99.7	99.7	99.5	99.6	99.3
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	60.6	63.8	58.2	63.1	63.7	59.7
	* 景気動向指数（CI一致指数）	129.4	131.6	116.7	108.7	122.1	104.8

島根県の経済動向

平成28年10月分

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇨	～持ち直しの動き～	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は114.3で前月比で0.1%上昇し、前年比は1.1%と3か月連続で上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇨	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.47倍で前月と同じ水準、新規求人数は▲7.4%と16か月ぶりに前年を下回った。所得面は、現金給与総額は4.9%と11か月連続で、きまって支給する給与は4.2%と10か月連続で前年を上回った。 雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。
個人消費	⇨	～持ち直しの動き～	百貨店・スーパー販売額は1.3%と、ホームセンター販売額は0.9%と3か月ぶりに、家電大型専門店販売額は6.7%と2か月連続で前年を上回った。新車登録台数は4.7%と3か月連続で前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	⇨	～持ち直しに弱い動き～	建設着工床面積(非居住用)は▲64.7%と、公共工事請負金額は▲24.5%と3か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数は17.7%と4か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	⇨	～倒産件数2件～	企業倒産件数は2件。うち、小売業は1件、不動産業は1件。
金融情勢	⇨	～貸出金利高は対前年4.4%増～	銀行預金残高は100か月連続で前年を上回った。 銀行貸出残高は74か月連続で前年を上回った。
物価	⇨	～対前年0.6%下落～	消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.5となり、前年比は0.6%の下落となった。

その他 島根県景気動向指数(CI)
(平成29年1月6日公表)
法人企業景気予測調査結果
(平成28年12月9日公表)

経済指標	前年同月比(%)					ただし*は除く。
	5月	6月	7月	8月	9月	
生産活動	109.8	114.2	109.9	117.7	114.2	114.3
"	▲6.5	▲4.0	▲3.8	7.1	▲3.0	0.1
"	3.2	1.3	▲5.1	7.1	3.2	1.1
雇用情勢	1.47	1.49	1.49	1.48	1.47	1.47
"	16.3	5.8	0.3	17.4	5.1	▲7.4
"	▲0.1	▲0.4	▲0.5	0.0	▲0.4	0.3
現金給与総額	2.0	7.4	10.1	4.3	4.8	4.2
きまって支給する給与	2.3	3.2	4.5	5.2	5.5	4.2
所定外労働時間(製造業)	▲7.5	▲10.2	▲4.7	▲9.5	▲11.2	▲7.7
個人消費	1.8	▲0.3	1.3	▲2.3	▲3.0	1.3
"	▲1.8	1.1	9.1	▲2.8	▲3.1	2.6
"	▲2.6	7.1	8.0	▲18.3	1.6	6.7
乗用車新車登録台数	9.7	▲2.1	0.0	10.8	1.1	4.7
出雲空港利用者数	1.9	▲1.3	14.0	20.9	3.5	5.7
投資動向	61.5	▲30.8	▲41.5	60.2	57.4	▲64.7
"	11.6	▲13.5	▲20.1	21.2	15.4	▲24.5
"	81.4	▲8.1	12.6	16.8	6.0	17.7
企業倒産	3	3	6	5	3	2
"	350	837	315	456	125	309
金融情勢	0.4	0.7	2.1	0.7	1.8	1.4
"	4.4	5.2	4.7	4.0	4.0	4.4
物価	99.7	99.7	99.5	99.6	99.3	99.5
"	63.8	58.2	63.1	63.7	59.7	69.6
その他	131.6	116.7	109.7	122.1	104.8	114.4

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「月例経済報告(内閣府)」平成28年12月21日 景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。 ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、緩やかに改善している。 ・雇用情勢は、緩やかに改善している。 ・消費者物価は、緩やかに改善している。 先行きについては、雇用、所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成28年12月8日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 …横ばい 2. 景況感 …現状は上昇、先行きは低下 3. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 …有効求人倍率は上昇、賃金は増加 5. 設備投資 …前年度を上回る見込み 6. 建設動向 …公共工事は減少、住宅建設は増加 7. 企業倒産 …件数は横ばい、負債額は減少 8. 貿易 …輸出、輸入ともに減少
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2016年12月14日 山陰の景気は、基調としては緩やかな回復が続いている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用、設備投資の着実な改善が背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。公共投資は、持ち直してきている。この間、鳥取県中部地震の影響をみると、産業活動の一部でマイナスイの影響が出ているが、官民一体となった取り組みによる復興の動きもあり、産業全体への振りがはみられていない。 ・個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 ・住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。 ・設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。 ・公共投資は、持ち直してきている。 ・生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 ・雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2016年11月30日 生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も一様ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 ・公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、2016年度は、製造業で前年度を下回るものの、非製造業が上回る計画となっており、全産業でも前年度を上回る計画(企業動向調査9月の全産業設備投資額は、2015年度実績対前年度比2.6%減、2016年度計画同2.0%増)。 ・住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費は、弱めながらも一部では持ち直しの動きもみられる。 ・生産は、業種間での対不調の差などによる振れがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 ・雇用情勢は、緩やかに改善している。 企業の業況判断は、元元(2016年度上期)は、製造業は改善したものの、非製造業では悪化し、全産業でも悪化した(前記▲7.7→今回▲12.2)。先行きについては、製造業、非製造業ともに改善を見込んでいる(企業動向調査9月調査)。
	「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成28年10月25日(四半期ごと)に公表 県内経済は、緩やかに持ち直している。 ・個人消費 持ち直しつつある ・生産活動 一部に弱さがみられるものの、引き続き持ち直している ・雇用情勢 改善している ・公共事業 前年度を上回る ・設備投資 28年度は増加見通し ・企業収益 28年度は減益見通し

島根県の経済動向

平成28年111月分

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている。
 生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	⇨	持ち直しの動き	鉱工業生産指数(季節調整済指数)は116.6で前月比で2.0%上昇し、前年比は6.7%と4か月連続で上回った。生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	⇨	緩やかな改善の動き	雇用面は、有効求人倍率は1.49倍で前月を0.02ポイント上回り、新規求人数は19.7%と2か月ぶりに前年を上回った。前月比は4.2%と3か月ぶりに前年と12か月連続で、きまって支給する給与は4.2%と11か月連続で前年を上回った。
個人消費	⇨	持ち直しの動き	雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。
投資動向	⇨	持ち直しに弱い動き	百貨店・スーパー販売額は0.0%と、ホームセンター販売額は1.5%と2か月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額は▲4.2%と3か月ぶりに前年を下回った。新車登録台数は3.9%と4か月連続で前年を上回った。
企業倒産	⇨	倒産件数2件	個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
金融情勢	⇨	貸出金利高は対前年4.1%増	建築着工床面積(非居住用)は▲38.0%と、公共工事請負員金額は▲46.8%と2か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は69.8%と5か月連続で前年を上回った。
物価	⇨	対前年0.8%下落	消費物价指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.3となり、前年比は0.8%の下落となった。
その他(参考)	⇨	島根県景動向指数(CI)(平成29年2月1日公表) 法人企業景気予測調査結果(平成28年12月9日公表)	投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

経済指標	前年同月比(%)				
	6月	7月	8月	9月	10月
生産活動	114.2	109.9	117.7	114.2	114.3
雇用情勢	4.0	▲3.8	7.1	▲3.0	1.1
個人消費	1.3	▲5.1	7.1	3.2	6.7
投資動向	1.49	1.49	1.48	1.47	1.47
企業倒産	5.8	0.3	17.4	5.1	7.4
金融情勢	▲0.4	▲0.5	0.0	▲0.4	0.3
物価	7.4	10.1	4.3	4.8	4.2
その他	3.2	4.5	5.2	5.5	4.2
景気動向	10.2	▲4.7	▲9.5	▲11.2	▲7.7
景気動向	▲0.3	1.3	▲2.3	▲3.0	1.3
景気動向	1.1	9.1	▲2.8	3.1	2.6
景気動向	7.1	8.0	▲18.3	1.6	6.7
景気動向	▲2.1	0.0	10.8	1.1	4.7
景気動向	▲1.3	14.0	20.9	3.5	5.7
景気動向	▲30.8	▲41.5	60.2	57.4	▲64.7
景気動向	▲13.5	▲20.1	21.2	15.4	▲24.5
景気動向	▲8.1	12.6	16.8	6.0	17.7
景気動向	3	6	5	3	2
景気動向	837	315	456	125	309
景気動向	0.7	2.1	0.7	1.8	1.4
景気動向	5.2	4.7	4.0	4.0	4.4
景気動向	99.7	99.5	99.6	99.3	99.5
景気動向	58.2	63.1	63.7	59.7	69.6
景気動向	116.7	108.7	122.1	104.8	114.4

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「11月例経済報告(内閣府)」平成29年1月23日 景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 ・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。 ・輸出は、持ち直しの動きがみられる。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、緩やかに改善している。 ・雇用情勢は、改善している。 ・消費物价指数は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の動向の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年1月12日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 …横ばい 2. 景況感 …現状は低下、先行きは上昇 3. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 …有効求人倍率は上昇、賃金は減少 5. 設備投資 …前年度を上回る見込み 6. 建設動向 …公共工事は減少、住宅建設は増加 7. 企業倒産 …件数は減少、負債額は増加 8. 貿易 …輸出は増加、輸入は減少
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年1月12日 山陰の景気は、基調としては緩やかな回復が続いている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するもとで、増加している。公共投資は、持ち直している。こうして需要動向のことで、生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 ・個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 ・住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。 ・設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するもとで、増加している。 ・公共投資は、持ち直している。 ・生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 ・雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2016年12月28日 生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も一様ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 ・公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、2016年度は、非製造業で前年度を下回るものの、製造業では前年度を上回り、全産業でも前年度を上回る計画(日経短観12月の全産業設備投資額は、2015年度実績対前年度比18.6%増、2016年度計画同6.6%増)。 ・住宅建設は、持ち直しつつある。 ・個人消費は、弱めながらも一部では持ち直しの動きもみられる。 ・生産は、業種間での好不調の差などによる振れがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 ・雇用情勢は、緩やかに改善している。 ・企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに改善し、全産業でも改善となった(前回2-今回6)。先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでおり、全産業でも悪化の見通しとなっている(日経短観12月調査)。 島内経済は、緩やかに持ち直している。 ・個人消費 持ち直しの動きが続いている ・生産活動 引き続き持ち直している ・雇用情勢 改善している ・公共事業 前年度を下回る ・設備投資 28年度は増加見込み ・企業収益 28年度は減益見込み
島根県	「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年1月25日(四半期ごと)に公表 県内経済は、緩やかに持ち直している。 ・個人消費 持ち直しの動きが続いている ・生産活動 引き続き持ち直している ・雇用情勢 改善している ・公共事業 前年度を下回る ・設備投資 28年度は増加見込み ・企業収益 28年度は減益見込み

島根県の経済動向

平成28年12月分

政策企画局統計調査課

一島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている。
 生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	↑	～持ち直しの動き～ 鉱工業生産指数(季節調整済指数)は114.1で前月比で2.1%低下し、前年比は2.8%と5か月連続で上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	↑	～緩やかな改善の動き～ 雇用面は、有効求人倍率は1.52倍で前月を0.01ポイント上回り、新規求人数は7.4%と2か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は4.4%と13か月連続で、きまって支給する給与は3.6%と12か月連続で前年を上回った。 雇用面、所得面とも、緩やかな改善の動きが続いている。
個人消費	↑	～持ち直しの動き～ 百貨店・スーパー販売額は0.4%と3か月連続で前年を上回った。ホームセンター販売額は▲0.3%と3か月ぶりに、家電大型専門店販売額は2.4%と2か月連続で前年を下回った。新車登録台数は10.1%と5か月連続で前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	↑	～持ち直しに弱い動き～ 建築着工床面積(非居住用)は▲62.5%、公共工事着工金額は▲11.8%と3か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は▲42.9%と6か月ぶりに前年を下回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	↑	～倒産件数3件～ 企業倒産件数は3件。(卸売業1件、小売業1件、サービス業1件)
金融情勢	↑	～貸出金残高は対前年4.7%増～ 銀行預金残高は2か月ぶりに前年を上回った。 銀行貸出金残高は76か月連続で前年を上回った。
物価	↑	～対前年0.5%下落～ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は99.4となり、前年比は0.5%の下落となった。
その他(参考)		島根県景気動向指数(CI) (平成29年3月7日公表) 法人企業景気予測調査結果 (平成28年12月9日公表) CI先行指数は82.6となり、3か月ぶりの下落となった。 CI一致指数は114.6となり、2か月ぶりの上昇となった。 財務省松江財務事務所が公表した現状(28年10～12月期)の景況判断BSIは、10.2%ポイントと「上昇」起に転じている。 28年度の設備投資計画は、前年度比10.4%の増加見込みとなっている。 (製造業 6.7%、非製造業 22.1%)

経済指標	前年同月比(%)			
	7月	8月	9月	10月
生産活動	109.9	117.7	114.2	114.3
雇用情勢	▲3.8	7.1	▲3.0	0.1
個人消費	▲5.1	7.1	3.2	1.1
投資動向	1.48	1.48	1.49	1.51
企業倒産	0.3	17.4	5.1	7.4
金融情勢	▲0.5	0.0	▲0.4	0.3
物価	10.1	4.3	4.8	4.2
その他	4.5	5.2	5.5	4.2
景気動向	▲4.7	▲9.5	▲11.2	▲7.7
景況判断	1.3	▲2.8	▲3.0	1.3
景況判断	9.1	▲2.8	▲3.1	2.6
景況判断	8.0	18.3	1.6	6.7
景況判断	0.0	10.8	1.1	4.7
景況判断	14.0	20.9	3.5	5.7
景況判断	▲41.5	60.2	57.4	▲64.7
景況判断	▲20.1	21.2	15.4	▲24.5
景況判断	12.6	16.8	6.0	17.7
景況判断	6	5	3	2
景況判断	315	456	125	309
景況判断	2.1	0.7	1.8	1.4
景況判断	4.7	4.0	4.0	4.4
景況判断	99.5	99.6	99.3	99.5
景況判断	63.1	63.7	59.7	69.6
景況判断	108.7	122.1	104.8	114.4

経済動向に関する他機関の公表資料(抜粋)

全国	「月例経済報告(内閣府)」平成29年2月23日 景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 個人消費は、持ち直しの動きが続いている。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、持ち直している。 生産は、持ち直している。 企業収益は、改善の動きがみられる。企業の業況判断は、緩やかに改善している。 雇用情勢は、改善している。 消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が緩くなので、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。
中国地方	「中国地域の経済動向(中国経済産業局)」平成29年2月9日 ～持ち直している～ 中国地域の経済は、生産、個人消費は緩やかな持ち直しの動き、雇用や設備投資に良い動きがみられ、持ち直している。 1. 生産動向 …緩やかな持ち直しの動き 2. 景況感 …現状は低下、先行きは上昇 3. 個人消費 …緩やかな持ち直しの動き 4. 雇用・賃金 …有効求人倍率は上昇、賃金は増加 5. 設備投資 …前年度を上回る見込み 6. 建設動向 …公共工事は減少、住宅建設は増加 7. 企業倒産 …件数、負債額ともに増加 8. 貿易 …輸出、輸入ともに減少
山陰地方	「山陰の金融経済動向(日本銀行松江支店)」2017年2月1日 山陰の景気は、基調としては緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。公共投資は、持ち直している。こうした需要動向のもとで、生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては堅く推移している。 住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。 設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するも、増加している。 公共投資は、持ち直している。 生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 雇用・所得環境は、着実に改善している。
島根県	「山陰経済動向(山陰経済経営研究所)」2017年2月28日 生産活動が一進一退で推移し、設備投資の増勢も一様ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、2016年度は、非製造業で前年度を下回るものの、製造業では前年度を上回り、全産業でも前年度を上回る計画(日銀短観12月の全産業設備投資額は、2015年度実績対前年度比18.6%増、2016年度計画同6.6%増)。 住宅建設は、持ち直しつつある。 個人消費は、弱めるながらも一部では持ち直しの動きもみられる。 生産は、業種間での好調差などによる振れがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 雇用情勢は、緩やかに改善している。 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに改善し、全産業でも改善となった(前回2→今回6)。先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化を忌んでおり、全産業でも悪化の見過しとなっている(日銀短観12月調査)。 島根県内経済は、緩やかに持ち直している。 個人消費 持ち直しの動きが続いている 生産活動 引き続き持ち直している 雇用情勢 改善している 公共事業 前年度を下回る 設備投資 28年度は増加見込み 企業収益 28年度は減益見込み
	「島根県の経済情勢(財務省松江財務事務所)」平成29年1月25日(四半期ごと)に公表